

**DuRiAN**  
(白桃ワインソン+Bamboo-K)

DuRiAN  
(Winson Shiramomo+Bamboo-K)

「ヨコハマバラトリエンナーレ2017」のウサギパフォーマーで結成。メンバーは特定せず、友人など参加したい人達でパフォーマンスをする自由なグループ。デュリアンを大きな宇宙に見立て、その中に小さなあなた(u)と私(i)がいるというのがグループ名の由来。

**Don't Push "THAT" Button**

[パフォーマンス]

ある森で仲良く楽しく平和に暮らす双子の創作物語がベースになっています。Praying Tree(インストレーション、竹厚桂子)に集まる人々や動物たちのエネルギー、その場にある風、光、匂いを感じ、パフォーマンスは即興的に変化します。双子が見つけた大きなボタンによって2人はどうなってしまうのでしょうか？飛び出す絵本のワクワクする感覚をみなさんと共有できることを楽しみにしています。



**Don't Push "THAT" Button**

[Performance]

It is based on the original story of twins who live happily and peacefully in a forest. Feeling the energy of the people and animals gathered at the Praying Tree (installation by Keiko Takeko), the wind, light, and smell of the place, the performance changes improvisationally. What will happen to them when the twins find the big button? We look forward to sharing the excitement of pop-up books with everyone.



**東京バンドネオン俱楽部**  
Tokyo Bandoneon Club

東京バンドネオン俱楽部は、1994年の設立以来アルゼンチン・タンゴを演奏する20名の団体。世界的なバンドネオン奏者小松亮太氏の指導を仰ぎ、毎年都内のホールでコンサートを開催。その他、高齢者施設などで演奏。海外では韓国公演を2回経験。

**タンゴ・ライブ**

[音楽演奏]

アルゼンチンタンゴの代表的な蛇腹楽器バンドネオン数台と、ピアノ、ヴァイオリン、チェロ、そしてタンゴダンサーのアンサンブルで秋の公園をノスタルジックに染め上げます。生演奏ならではのタンゴのリズムとロマンチックな世界観をお楽しみください。



**Tango Live**

[Music Live]

Together with the bandoneons, the musical instrument representative of Argentinian Tango, an ensemble consisting of piano, violin, cello and the dancers will transform the autumn park to a nostalgic stage. Enjoy the distinctive rhythm and the romantic world of tango!



**三毛猫の音読屋(洲永 敬子)**

The Calico cat's Reading Room (Sunaga Keiko)

**太宰治作「貨幣」**

[朗読]

貨幣は見た。人の世のあさましさを。人の手から手へ渡ってゆく百円紙幣(わたし)が、戦時下の日本を語るという斬新な視点から描かれた太宰治の短編。人の世に絶望し、疲れ果てた百円紙幣は貧しい母子に出会い、最後になにを見たのか。お金とは？ 欲望とは？ 人の尊さとは？ さて戦後の日本に希望の兆しは訪れたのでしょうか。

**"Money" by Dazai Osamu**

The wretched human world seen through money. Osamu Dazai's short story told from the unique perspective of a 100 yen note that passes from hand to hand during Japan's wartime. The 100 yen note, despairing of the human world and exhausted, meets a poor mother and her child, and what does it see in the end? What is money? What is desire? What is human dignity? And are we to find any glimmer of hope in post-war Japan?



**山梨由理**

YAMANASHI Yuri

**生きているということ**

[パフォーマンス]

私と同じ形の等身大の人形を用意して、並んで座ります。「あたたかい」「脈や鼓動を感じる」という人形との違いから、生きているということを感じて欲しいです。静かで、いつまでも何も起こらない時こそ、何かが起こりそうなきざしを感じるのだと思います。今にも動き出しそうな「生」のきざしを、肌で感じて欲しいです。

**Being Alive**

[Performance]

Sitting side by side a life-sized doll resembling myself, only one has warmth, a pulse and a heartbeat, and I want you to feel what it is to be alive. When it is quiet and nothing occurs, we might best sense the signs of something to come. I want you to feel with your body the signs of life which are about to spring forward.



1997 静岡県生まれ

2020 筑波大学芸術専門学群構成  
専攻 総合造形領域卒業

2022 筑波大学人間総合科学学術院  
人間総合科学研究群芸術学  
学位プログラム総合造形領域  
2年在籍

## なつばんぱく

Natsubanpaku

日程 11/3(木・祝)~23(水・祝)  
会場 都立善福寺公園(下池 もしの森[愛称])

高野夏美によるひとりユニットとして絵画、立体作品、パフォーマンス、インスタレーション、VJ、DJなどの活動を続けている。



### aware

[ワークショップ、インスタレーション、パフォーマンス] 傘、金具、ロープ "Signs-きざし"というテーマから「風向きがかかる」や「光がさす」という言葉を連想しました。目に見えない風や光のエネルギーの動きを捉えて可視化し、私達が自然からのかすかなサイン(きざし)に気づくことを思い起こすような作品を桃井第四小学校の子どもたちと一緒に表現したいと思います。



### aware

[Workshop, Installation, Performance] Umbrellas, metal tools, rope The theme of "Signs" brought to my mind the words "changes in wind direction" and "rays of light". Here I try to express with the children of Momoi Daishi Elementary School a work that reminds us to notice faint signs from nature by capturing and visualizing the movement of invisible wind and light energy.

## 武蔵野美術大学芸術文化学科佐々木ゼミ

Sasaki Seminar, Department of Arts Policy and Management, Musashino Art University

日程 11/3(木・祝)~23(水・祝) 会場 都立善福寺公園(上池)、骨董通りの12カ所に点在

### まちを象ること

[インスタレーション] 木材  
フィールドワークを通して発見したまちへの11の視点を象(かたど)り、善福寺公園と骨董通りに新たな空間を出現させます。

### Shape of the Town

[Installation] Timber  
The work reconstructs 11 perspectives upon the neighbourhood, as discovered through field work, and creates new spaces in the park and local antiques street.

設置協力(順不同)

- ・ぼわっと
- ・もりのこと
- ・ノースウェストアンティークショップ
- ・Nook Nook イングリッシュカルチャースクール
- ・小鉢と日本酒 たとえば
- ・ヒトハリ
- ・バハール
- ・バハール2号店
- ・ほっべるランド(保育園)
- ・グリーンハイツのゴミ捨て場
- ・棗と駱駝の教会
- ・骨董玩具とりり

空間芸術・デザインを基軸にして、芸術文化と地域社会を架橋するための方法について研究を行うゼミナール。



## 展示作品に連動したパフォーマンス&イベント

空間展示作品と連動したパフォーマンスやワークショップが行われ、違う角度から作品を味わえました。

### 川嶋 貫介

落ち葉のじゅうたん

日程 11/13(日)

森の中にささやかな「屋根」が出来ました。みんなで落ち葉を集めて、その下に落ち葉でじゅうたんを作ります。出来た落ち葉のじゅうたんの上で、お茶会を開きます。みんなでお茶やお菓子を楽しみましょう。



### なつばんぱく

まちなか関連企画

### aware

日程 11/23(水・祝)

下池の「もしの森」の作品の下で、2人のパフォーマーが鐘を鳴らしながら歩き、キャンバスに傘の先でイメージ画を描くパフォーマンスを行いました。



## インフォメーション

日程 11/3(木・祝)~23(水・祝)の土・日・祝

森藤文華(2.5architects)による作品①は、インフォメーションブースを兼用。会期中の土・日・祝日にオープンし、「トロールの森2022」の情報発信基地としました。受付は、アーティストと事務局スタッフが担当。



## アーティスト・デイ

日程 11/3(水・祝)、23(火・祝)

コロナ禍にあって、例年開催していたアートツアーやにかわって11月3日(木・祝)と23日(水・祝)を「アーティスト・デイ」とし、作家が作品附近に待機し、訪れた人に自作を紹介しました。



## KK

日程 11/3(木・祝)~23(水・祝) ※「nido」会場は火曜定休

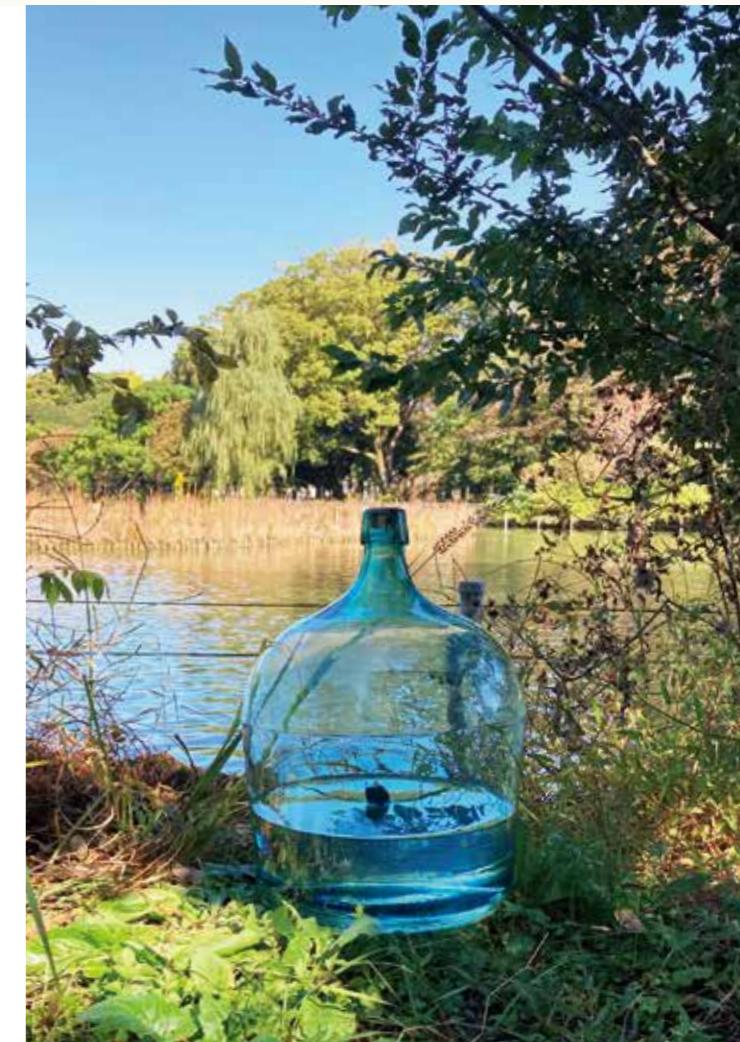
会場 都立善福寺公園(上池)、nido カフェと駐車場を結ぶ壁面(屋外)

### 島景

[インスタレーション] 瓶、石、木  
瓶の中に浮かぶ「島」。この島が見える風景、この島から見える風景から自分の居場所を感じる。

### Island-scape

[Installation] Glass, stones, wood  
An island floating in a bottle. I feel my place from the scenery that can be seen from this island.



広島県出身。東京造形大学卒業。現在、企業のクリエイティブディレクターとして、広告やプランニングを担当する傍ら、作品を制作している。

**もしものおでかけトロール**

MOMOSHI's Adventurous Trolls

日程 11/3(木・祝)～23(水・祝)

会場 都立善福寺公園(上池)  
JR西荻窪駅付近から都立善福寺公園付近**おでかけトロール**

[インсталляшн] 木

西荻窪駅からバス通りへとのびるトロールたちが、公園内へと  
続き、森でかくれんぼ。**'Odekake'(Adventurous) TROLLS**

[Installation] Wood

Trolls that can be seen from Nishi-Ogikubo Station all along the bus route will continue on into the park, playing hide-and-seek in the woods.



設置協力(順不同)

- ・関東バス株式会社(西荻窪北口バス停)
- ・JR西荻窪駅
- ・Daily Table KINOKUNIYA 西荻窪駅店
- ・パレタザール
- ・杉並区立桃井第四小学校
- ・都立善福寺公園
- ・東京女子大学(11/12(土)・13(日)のみ)

**桃井第四小学校の児童たちとRITENUTObytac**

Students of Momoi Daishi Elementary School and RITENUTObytac

ファッショショニー 日程 11/3(木・祝) 会場 都立善福寺公園(上池)

展示 日程 11/18(金)～20(日) 会場 ギャラリーみずのそら

**The Possibilities of Children-Upcycle Fashion Show**

[ワークショップ/パフォーマンス]

桃井第四小学校の児童たちとのワークショップにて制作した衣装を着たモデルによるファッショショニー。衣装の素材は不要になった衣服、廃材。アップサイクルなファッショショニーでもあります。衣装とファッショショニーの写真を、ギャラリーみずのそらで展示。

**The Possibilities of Children-Upcycle Fashion Show**

[Workshop/Performance show]

An upcycle fashion show featuring models wearing costumes made from discarded clothes and scrap wood created by students of Momoi Daishi Elementary School.

&lt;モデル&gt;

hii  
さえ  
るび  
セリナ  
とうこ  
けんご  
あかね  
あさき  
ゆり  
かな<演奏家>  
小倉大志 saxophone  
西尾真奈 clarinet  
島田哲也 trombone  
平野貴大 tuba

&lt;カメラマン&gt;

松尾淳一郎  
(バックステージカメラマン  
&フィッター)  
まい  
(ヘアーメイク)  
モエカス  
もえ  
相川ニコ<ヘアーメイク>  
けいた  
(メイク)  
まりこ  
ゆみ衣装デザイナー。ロンドン芸大卒。帰國後、cm.MV、映画、舞台等の衣装を手がけ、  
衣服を媒体に芸術作品を発表。**小澤雅都**

Masato Ozawa

日程 11/3(木・祝)～6(日)、9(水)～23(水・祝)  
会場 都立善福寺公園(上池) 11/3(木・祝)～4(金)

西荻北4-1-6 松平ビル隣の空き地 11/5(土)～6(日)、9(水)～23(水・祝)

**自然台—SHIZENTAI—**

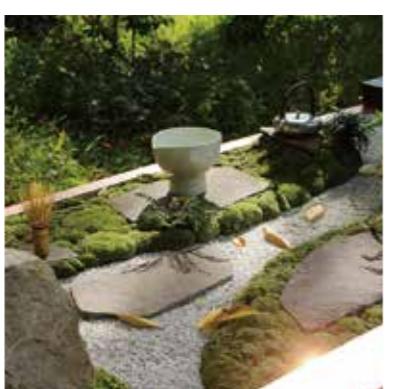
[インсталляшн] 植物、石等

人は忘れしまった。自然を敬う心を\_\_\_\_\_。今、暮らしの中で改まって自然に対して感謝を伝える時間はないだろう。産業革命以降、自然を壊して、物で溢れ返った現代において、日本の神道的な精神を見直すべきではないだろうか。かつて日本人は自然を敬う心を抱き、精神から体となって暮らしていたように思う。その心を取り戻すべく、屋台を自然で再構築することで「自然台」は生まれた。自然に感謝し、畏敬の念を深める時間を一服の茶を通じて創り出す。

**Nature Stand**

[Installation] Plant, stone, etc.

People have forgotten how to respect nature. Nowadays, there is no time to express gratitude to nature in our daily lives. In this day and age, when nature has been destroyed and overflowed with things since the industrial revolution, it is time to revisit the Japanese Shinto spirit. In the past, the Japanese people embraced a spirit of respect for nature and lived as one with it from the spirit. In order to regain that spirit, the "shizen-tai" was created by reconstructing the yatai(stand) with nature. We create a time to appreciate and deepen our awe of nature through the act of a tea ceremony.



埼玉県出身。2022年よりアーティストとして独自の茶の湯を形成。

**佐藤ひろみとPINMY俱楽部**

Sato Hiromi and PINMY Club

日程 11/3(木・祝) 行程 桜四小→(バス)→西荻窪駅→(ウォーク)→都立善福寺公園周遊

**佐藤ひろみとPINMYの世界～LOVE WALKING～**

[ウォーキングパフォーマンス]

自作のpinkの衣装を身に着け、PINMY俱楽部のメンバーが西荻窪～まちなか～善福寺公園をLOVE WALKINGします。PINK色の持つ、明るさ・華やかさ・温かさを、道中、世の中に『Sign of PINK(PINKのしるし)』として残していくこうと思います。世界に平和が訪れ、人々が健やかに生活することを願いながら、PINMY俱楽部はWALKINGを続けていきます。

**Sato Hiromi and World of PINMY～LOVE WALKING～**

[Walking performance]

Handmade wearable works of pink art are donned and paraded by members of PINMY in "LOVE WALKING" from Nishiogikubo to Zenpukuji Park, attempting to fill the streets, and the wider world with the brightness, gorgeousness and warmth of pink as a "Sign of PINK".



PINK色を基調とする作品を制作発表。PINMY俱楽部を結成し、自作の衣装でPINK WALKING。



# まちなか×アート

## Art Program Around Nishi-Ogikubo

西荻窪から善福寺公園周辺までをエリアに展開するまちかどアートや公演など多彩なプログラム！

A diverse program of events, from art on street corners to public performances taking place in the area between Nishiogikubo and Zenpuji Park!

### 西荻窪～善福寺周辺

野外／まちなかつなぐ企画	
P20 23 武蔵野美術大学芸術文化学科佐々木ゼミ	1 DI
P21 24 KK	2 ナイスクロップ
P22 25 ももしのおでかけトロール	3 RITENUTObytac ×
L 小澤 雅都	4 小林企画
M 桃井第四小学校の児童たちとRITENUTObytac	5 0円均一
N 佐藤ひろみとPINMY俱楽部	6 藤沢 みつほ

### 杉並区立桃井第四小学校

P24 1 武井よしみち+ブルーボウルカンパニー'96	
P27 2 ビッグ☆ザッバーズ	
P29 3 遠峯未来	ももしワークショップ企画
P30 3 中尾 紫香	ももしワークショップ企画
P31 4 今川図書館	まちなか関連企画
P32 4 市川 寛	



### DI

日程 11/3(木・祝)～23(水・祝)  
集合 Daily Table KINOKUNIYA 西荻窪駅前

プログラマー、プロダクトデザイン、空間デザインをバックグラウンドに持つ3人からなるクリエイティブユニット。デジタルメディアを用いた空間インスタレーションをベースにさまざまな視点からメディアと空間の特性を融合させることを目指して制作活動を行なっている。

### 蝴蝶の夢

[インсталляшн] 木材、アクリル、モーター、ディスプレイ  
霞がかかった箱の中にぼんやりと蝶が浮かび上がっており、箱の中をはっきりと視認することはできない。箱には中をのぞくための穴が取り付けられており、そこには蝶の視点が広がっている。霞がかかった閉ざされた中で飛ぶ魂を外側から観測し、思いを巡らせることで、鑑賞者が自らの内に兆しを見つけることを狙う。

### The Dream of a Butterfly

[Installation] Wood, acrylic, motor, display  
A butterfly is vaguely visible through the mist of a box, the interior space not clearly visible. You can peer inside through a hole and glimpse the viewpoint of the butterfly before you. By observing and contemplating the flying soul from the outside, the viewer is encouraged to find their own inner sign.



### ナイスクロップ

#### Night Skip

日程 11/6(日)  
集合 ことビル2F 西荻シネマ準備室と屋外

2011年、震災後をきっかけに活動。経産省一周、霞が関、明治公園国立競技場、宮下公園、築地場外市場など土地の話を聴き地を踏むことを様々な人と行う。

### 旅するスキップ2022～西荻ナイトスキップ

[ムーヴメント(トーク・ワーク・展示)]

知られざる西荻窪の歴史的？裏文化的？なお話を、地元に生まれ育った方にうかがってから、西荻を巡り身も心もその場と一緒にになってみようという散策の時間です。(スキップできなくて大丈夫です)



## RITENUTObytac ×

### Fashion phoARTo

日程 11/18(金)～20(日)  
会場 ギャラリーみずのそら

衣装デザイナー。ロンドン芸大卒。帰国後、cm.MV.映画、舞台等の衣装を手がけ衣服を媒体に芸術作品を発表。



### Fashion phoARTo

[立体作品、写真]

芸術作品にインスピレーションを得て衣服を制作し、芸術作品と衣服を共鳴させる。善福寺公園に展示された芸術作品と衣服が共鳴した写真作品を展示。芸術、衣服、ファッションフォトの新たな可能性、兆しを..

[Exhibition of fashion garment and photography]

Garments are created. Drawing inspiration from the works of art. And they are set in resonance with each other. Photographic works capture this dialogue between fashion garments and the works of art exhibited in Zenpukuji Park. Signaling towards the new possibilities of art, clothing and fashion photography.

## 0円均一

Zeroyen Kinitsu

日程 11/3(木・祝)～23(水・祝) 会場 善福寺から西荻窪地域のあちこち

### 0円均一 善福寺商店街 2022

[アクティビティ]

「0円均一 どうぞご自由にお持ち下さい」と書かれた箱に各家庭の不用品を入れ、「0円で売り／買い（譲る／貰う）」する活動です。「0円均一」の1箱1箱を「個人商店」と見なし、トロールの森の会期中に善福寺地域で不特定多数の「個人商店」が「開店」することで、「0円均一 善福寺商店街」を形成します。

### Zenpukuji Shopping Arcade 2022

[Activity]

An activity that utilizes boxes with "EVERYTHING ZERO YEN" printed on them to "sell/buy (give away/receive)" unwanted household goods for zero yen. With each box regarded as a "private shop," an uncertain number of "private stores" will open their doors in the Zenpukuji area during the Trolls exhibition, forming the "EVERYTHING ZERO YEN shopping street."



## 小林企画

Kobayashi-kikaku

日程 11/19(土)  
会場 桃井第四小学校図工室・善福寺公園及びまちなか(各自で録音場所をまわる)

### #ゲニウスロキを探して

[ワークショップ]

語り手の往時の記憶や過去の自分を想起する体験を創出しようと、「身体」と「場」を結びつけるワークを定期的に行う。こうした活動を『#ゲニウスロキを探して』と題して、経験を蓄積している。

### #Searching for Genius Loci

[Workshop]

In the attempt to create an experience which replays memories of the narrators and reminds us of who we are, regular workshops will be held asserting the connection between "body" and "place". Here experiences are accumulated under the title of "#Searching for Genius Loci".



1991年生まれ。精神科医/演出家。英語で応用演劇を学び、青年団演出部に所属する。観客と演者の関係性について問う参加型の演出や、ツアーパフォーマンスを創作する。ワークショップファシリテーターとしても活動し、社会と演劇の交点を探している。

## 藤沢 みつほ

Mitsuhiko Fujisawa

日程 11/3(木・祝)～23(水・祝)  
会場 善福寺公園サービスセンター ミニギャラリー

1982年秋田県に生まれる。2005年武蔵野美術大学造形学部彫刻科卒業。物語の持つ力、怖さ、不思議さ、面白さをテーマに表現方法を研究し、作品を制作中。



## 奥底で出会う

[インストレーション] 石粉粘土、布、紙、セメント、アクリル絵具

人々のそれぞれの心の底に残っている、さまざまな物語。それは人々の兆しとなり得るのではないかと考えました。私の中の物語をたくさん集めて展示しましたので、共鳴するものが一つでもあれば幸いです。



## Meet deep inside

[Installation] Stone clay, cloth, paper, cement, acrylic paint  
Various stories that remain at the bottom of each person's heart.I thought it could be a sign of people. I collected a lot of stories in me and exhibited them. I would be happy if there was even one thing that resonates.

## 池の畔の遊歩音楽会チーム

Team Promenade Concert around the Pond

日程 11/20(日)

会場 井草八幡宮大鳥居前→善福寺公園(下池)

音風景のナビゲーター/鳥越けい子と放浪の楽師/辻康介により2010年にスタート。楽師仲間を増やしつつ、土地の環境文化資源を発掘・発信する歌その他のパフォーマンスを展開・蓄積。2020年からは「音楽会跡地巡礼」によってコロナ禍における活動を継続した後、その舞台を「井草八幡宮境内から下池」へと移し、新たな展開を開始した。



## 池の畔の遊歩音楽会2022:TASOGAREの向こうへ

[街歩きワークショップ・パフォーマンス]

秋の夕暮れを「黄昏/たそがれ」というのは何故でしょう? 私たちがそこで感じる「兆し」とは何でしょう? かつて遅野井と呼ばれていた土地の記憶を呼び覚まし、その歴史と物語を人々に伝えてきた遊歩音楽会。2年間の「跡地巡礼」を経て、私たちは今、二つの光(太陽と月)が交差する時空への旅を旅を始めました。



## A Pondside Walk Concert 2022: Beyond the Twilight

[Walking workshop·performance]

Why is the autumn evening called "Twilight"? What are the "signs" we feel in the twilight? The "promenade concert" had awakened the memories of the land which used to be called "Osonoi" and conveyed its history and stories to people. After 2 years during which we did "site pilgrimage projects", we have just started a new journey to the space-time where two lights (sun and moon) intersect.

## 落合有紀

OCHIAI YUKI

日程 11/3(木・祝)~23(水・祝) ※火曜定休

会場 nido カフェと駐車場を結ぶ壁面(屋外)

日常の中のアートを意識して制作しています。見慣れたものや日常的なものを使って絵画やインスタレーションを開催しています。



## Fragile/Catch a cold/Transition

[展示]

完璧な人や物事はありません。脆くて悔い、切なくて美しい、そんな一面に焦点をあてた作品です。



## Fragile/Catch a cold/Transition

[Exhibition]

Nothing is perfect. No one is perfect. This work focuses on the fragile and fleeting, sad and beautiful side of life.

Fragile/Catch a cold

## 遊工房アートスペース

Youkobo Art Space

日程 11/18(金)~20(日)、22(火)~23(水・祝)

会場 遊工房アートスペース

## YAMANEMU Forest

[展覧会]

作家・長坂絵夢と写真家・山根朋子によるアートユニット「YAMANEMU」が、鉄と人間、自然を結ぶ「循環」をテーマに、2020年秋と2021年冬の季節を跨いで、青森県十和田市の中八甲田地域に広がるブナ林を中心に自然観察と作品撮影を重ねてきた一冊の作品集と制作記録を展示する。



## YAMANEMU Forest

[Exhibition]

Between Autumn 2020 and Winter 2021, the art unit "YAMANEMU", comprising of writer Emu Nagasaka and photographer Tomoko Yamane, undertook a series of observations of the beech forests of the ecologically rich Hakkoda region of Towada, Aomori Prefecture and created works based on the theme of "circulation" linking iron, humans and nature. The exhibition will feature a catalogue of these works and a record of their production process.



1989年より海外アーティストの受入開始。2001年さらに活動を充実させるため、主として現代美術の発信を目的とするギャラリー、創作スタジオ及び滞在施設を備えたアートの複合施設として、アーティスト・イン・レジデンスを本格化。グローバルなアーティストとの交流や、地域に根ざした芸術活動を展開。

©YAMANEMU

まちなか関連企画

## 西荻たんけん隊

nishiogitankentai

日程 11/5(土)、13(日)

※23日(水・祝)は雨天中止

集合 JR西荻窪駅 改札口

2019年度すぎなみ大人塾西荻窪コースの活動グループとして発足。2020年及び2021年11月トロールの森に参加。2021年及び2022年3月阿佐ヶ谷の産業商工会館にて実施された「まちかく」に参加。



## 前を向いて、一步ずつ歩こう

[まち歩き(お散歩)]

西荻窪駅に集合して、途中作品を見たり、スポットで止まったり、休憩して、変化のきざしを感じながら、善福寺公園を目指します。上池についてたら、展示作品やパフォーマンスを堪能します。

協力:お散歩の会(杉並)



## Let's go forward, one step at a time

[Town walking]

Meeting at Nishiogikubo Station we head towards Zenpukujii Park, stopping at artworks and various spots along the way, taking breaks here and there and sensing the signs of change around us. Once we have reached the Upper Pond, we will enjoy the artworks and performances on display.

## 武井よしみち+ブルーボウルカンパニー'96

Takei Yoshimichi + BlueBallCompany'96

日程 11/12(土)

会場 杉並区立桃井第四小学校 視聴覚室

1996年より「武井よしみち+ブルーボウルカンパニー'96」として創作活動開始。日常生活の根幹をなす「歩行」を表現の主体に置き、足の動きを「数字や拍や声」等に変換しつつ、都市文化、都市空間を考察する手掛けりとして、身体表現の作品を発表してきた。近年はレクチャーパフォーマンスも行う。



## 足が耕す表現の世界 第9弾 「視・聴・覚を澄ませてみよう」の巻

[パフォーマンス]

私達は日常の中で、言葉溢れ返る世界と言葉無き世界の間を、行きつ戻りつしている。言葉無き世界に耳を傾け、そこから聴こえてくる世界を探検したい。STEP & CHANT（足踏みと朗唱）の手法を用い、言葉ある世界と言葉無き世界との呼応を試みる。



## STEP & CHANT Vol.9

### Let's open our vision, hearing and perception

[Performance]

In our daily lives, we move back and forth between a world of language and a world beyond this. How might we listen to a world beyond language and explore its depths? Using the technique of STEP & CHANT, we will try to create a correspondence between the world of language and the world without words.

もしもワークショップ企画

## 遠峯未来

Miki Tomine

日程 11/3(木・祝)~23(水・祝)

会場 杉並区立桃井第四小学校 1階廊下

筑波大学大学院環境デザイン専攻修了。店舗設計でインテリアデザイナーとして勤務の後、まちづくり系コンサルタント会社にてプランナーとして勤務中。2021年から参加型アート作品の制作も行う。

## いろいろ収集家

[ワークショップ]

公園内にある様々な色を収集するワークショップを桃井第四小学校の児童と開催し、その成果物を用いて作家が作品を作り展示する。また最終的に、作品は展示した後、生徒の元に返す予定。



## ビッグ☆ザッパーズ

Big☆Zappers

日程 11/12(土)、13(日)

会場 杉並区立桃井第四小学校 図工室

ビッグ☆ザッパーズとは、ダンスと演劇の3人組。結成2年11ヶ月。

松元夢子=東京乾電池劇団員。趣味、読書。

江積志織=振付家、ダンサー。上原尚美に師事。

彩のくに創作舞踊団員。

松元日奈子=ダンサー。彩のくに創作舞踊団員。



## わたしのすがたは小さくて

[演劇&ダンス]

わたしのすがたは小さくて。  
けれど世界中のきものをきていて  
どんなに重いものでもはこべるわたし。



## My Figure Is Small

[Drama and dance]

My figure may be small  
But I wear clothes from all over the world  
And can carry even the heaviest of things.

もしもワークショップ企画

## 中尾 紫香

NAKAO Shikou

日程 11/3(木・祝)~23(水・祝)

会場 桃井第四小学校 西側玄関入り口

## Welcome!

[ワークショップ] 竹の枝、粘土

小学校近辺で伐採した竹の枝を用いて小学生と薄い膜を作り、学校玄関にアーチを作ります。11月中旬からは、小学生によるオメタイ飾りつけも加わり、学校創立90周年を賑やかにお祝いします。

## Welcome!

[Workshop] Bamboo branches, clay

Together with students of Momoi Daishi Elementary School, branches are woven to create an arch over the entrance way of the school. From mid-November, the students will also add decorations and make lively celebrations of the school's 90th anniversary.

1977年東京都出身。植物を用いたインストレーションを制作。作品素材は、主に展示場所周辺より採取。いけばな草月流師範。



## Iroiro Explorer

[Workshop]

A workshop to collect various colours from the park will be held with students from the Momoi Daishi Elementary School, the products of which will be combined to create a work of art. Once the exhibition has ended each piece will be returned to the students.

## 今川図書館

Imagawa Library

日程 11/3(木・祝)~23(水・祝) ※11/7(月)・17(木)は休館日  
会場 今川図書館

## よあけ

[タペストリー] 糸

大型木枠を使ってタペストリーを作成します。様々な糸や素材を持ち寄って、図書館の来館者が自由に糸を足していく、一枚の織物を完成させます。織り上がった唯一無二の織物は図書館にて展示します。

## Yoake(Dawn)

[Tapestry] Thread

Large wooden frames are used in the creation of tapestries. A variety of threads and materials will be shared amongst library visitors who may freely intertwine them to complete a piece of weaving. The unique woven textile will be displayed in the library.



杉並区の今川にある公共図書館です。  
みなさまのご来館をお待ちしています。

## トロールの森実行委員会×今川図書館 共同企画

今川図書館でトロールの森に関する企画が開催されました。

## 講演会

## トロールの森のあゆみとこれから

日程 10/16(日)  
会場 今川図書館 2階多目的室  
講師 村田達彦氏(遊工房アートスペース共同代表)  
高島亮三氏(美術家)  
黒野裕一郎(トロールの森実行委員会代表、アーティスト)

トロールの森の20年の歩みとともに、アーティストの立場から作品のコンセプトを紹介。「トロールの森の成立がわかり、作品を見に行く時の楽しみが増えた」「作品の背景を知ることでトロールの森の意義を知ることができた」「ぜひ実際の作品を観に行きたい」などの感想が寄せられました。



## ワークショップ

## ワイン箱を使った本棚制作

日程 10/23(日)  
会場 今川図書館 2階多目的室

アトリエそらの早内佳子が講師となり、12人の子どもたち(保護者7人)が参加してワイン箱をアクリル絵具でペイントングした「マイ本棚」を制作。完成した作品に、各自おススメの本を入れ、期間中、館内に展示しました。



## 展示

## トロールの森写真展

日程 10/8(土)~12/30(金)  
会場 今川図書館 館内壁面、書棚ほか

トロールの森の20年の歩みを伝える写真展を開催。展示場所を記載した館内マップを手に、写真を鑑賞する利用者の姿が見られ、好評だったことから期間を延長しました。



## 学校との協働

桃四コミュニティスクールでのワークショップやトロールの森鑑賞授業、おでかけトロールの設置協力など、トロールの森と学校や地域との新たな協働の形。

## もしもワークショップ

12 てまひま不動産 [対象] 1年生 【P08】



1 なつばんぱく [対象] 2年生 【P19】



3 遠峯未来 [対象] 2年生 【P30】



M RITENUTObytac [対象] 5年生 【P22】



3 中尾紫香 [対象] 5年生 【P30】



22 桃井第四小学校6年生 【P13】



## トロールの森 鑑賞授業

【日程】11/14(月) 11:00~12:00

作家から子供たちへの問い合わせが載っている「見つけたシート」を手に作品を鑑賞。児童の感想は、各アーティストに届けられました。



## せんぶくトリヲ 小学校朝礼台ライブ版 パントマイム「あー吾輩は猫じゃ」

【日程】11/15(火)、17(木)、18(金)

平日授業の中休みの20分間に校庭(雨天時は体育館)で行うゲリラライブ。パントマイムによる想像の世界に子供たちを誘います。漱石の「吾輩は猫である」にインスピレーションされた色んな猫のショートストーリー。



## 市川 寛 emerge

【日程】11/3(木・祝)~11/23(水・祝)

桃井第四小学校正門近くのプラタナスの木の近くに、公園の作品(P03)と同じコンセプトの作品を設置。子供たちがお気に入りの落ち葉を投入し、すぐにいっぱいに。



## 「おでかけトロール」の地域への展開

「もしものおでかけトロール」が広がりを見せています。これまで東京女子大学の学園祭VERA祭で展示していましたが、2022年はそのコラボが進化。夏に開催された大人向けワークショップに、地域の方とともに、東京女子大生が参加してトロールを制作。完成した「大人のトロール」は、本部企画として、VERA祭(11/2(土)・13(日))の期間をはさむ1週間、学内に展示されました。さらにそのトロールたちが、11月16日(水)から荻窪中学校におでかけ。さらに、会期後の2023年3月5日(日)に開催された西荻センターまつりでも会場を飾りました。



## おでかけトロール設置作業

おでかけトロールのまちなか展示等にあたっては、桃四コミュニティスクールの保護者によるアートボランティアも活躍。



## トロールの森2022春展

日程 4/28(木)~5/8(日) 会場 都立善福寺公園(下池)  
GW期間中「森に遊ぶ子ども達」と題した桃井第四小学校4年生98人の作品が、「もしもしの森(愛称)」に展示されました。2014年からスタートし、秋には西荻窪のまちなかと善福寺公園をつなぐプロジェクトとして継続しています。

# 広報

「トロールの森2022」広報ツールと掲載誌紙

## 広報ツール



作品募集ビジュアル(web用)



ポスター(A1・A2・A3)



ガイドブック(A5判 12ページ)



のぼり



トロールの森公式Webサイト  
(<http://www.trollsinthepark.com/>)



トロールの森YouTubeチャンネル  
(作家ミニインタビュー、対談の動画を公開)



## 掲載誌紙



朝日新聞  
(2022/11/1[火] 夕刊 掲載)



東京新聞  
(2022/11/2[水] 夕刊 掲載)



毎日新聞  
(2022/11/8[火] 掲載)  
※写真はweb版 紙面では東京版に掲載



月刊ギャラリー2022年12月号  
見開きで佐藤ひろみとPINMY俱楽部の  
ラブ・ウォーキングについて記事に

## 杉並区広報課や善福寺公園のSNSでも「トロールの森2022」を情報発信

「中央線あるあるプロジェクト」のFacebook等でも紹介



都立善福寺公園のTwitter



杉並区広報課のTwitter

## Publicity

## SNSで見つけたコメント

TwitterやFacebook、InstagramなどのSNS上での「トロールの森2022」関連のつぶやきや写真投稿は、例年の3倍以上に及んだ。

※本文の趣旨が変わらない範疇で、改行や一部省略、注釈の追加(\*)をしています。※本文とともに掲載している画像は、事務局で撮影したものをイメージで入れており、実際の投稿画像とは異なります。



mhr

2022/11/13

地味な地域アート系書物でその名があり出てこないけれど、トロールの森は西荻窪・善福寺辺りにうまく根ざすことができた小さな芸術祭だなあ。初期の海外から作品、作家がやって来る国際野外展から徐々に"国際的"ではなくなっていって、美術展としては…みたいなこと言いたい人もいるだろうけど、

去年は気がつかなかったけれど、桃四小校舎内に入って、校内の至るところにトロールの森や遊工房(\*2002年~2011年の「トロールの森」主催団体)の長い関与が表れていて、善福寺公園での野外展に留まらず拡張させてきた現運営委員会の目論見が、コロナ禍を経た現在、まちアートフェスとして穏やかに定着してます。

遊工房の村田弘子さん(\*2002年~2011年の「トロールの森」ディレクター)が「続けて! とは言えない」と、オンラインでも公開された20周年シンポで言い、参加者の間でも"最後"の言葉が聞かれ、聞いてる方も、うなづく感じがあった。「続けて! とは言えない」感じが共有されてた、と思う。



99

2022/11/18

野外なので美術館よりも色々な角度から見られて、何なら作品に入るし、天気によって見え方が変わって、もうとても楽しい。



yow\_f

2022/11/29

試みを試みのままに、問い合わせをしている様な作品が多く、毎年、楽しみにしている。生活圏に表現との関わりを知れる場が設けられるのも、ありがたい事だと捉えていて、長くの継続を心から願っている。



fu63mo

2022/11/15

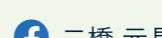
トロールの森に散歩に行きました。妖怪みたいのが居たり、自然の現象のように見えるアートが満載です。気がつかないものも沢山あって面白い。毎年つい観に行きます。



Takashi Eda

2022/11/16

初めは遠くから見ていたら人形かと思ったが、近づいてみると一人は本物の人間だった。動かない、しゃべらない。あたたかさとか脈や鼓動など生きている人間を感じてください。と説明にあったから、どうしようか触ってみようかと思ったが、ためらって出来なかった。その後時間を置いて行ったら、周りに人が集まり話したり触ったりしているようだった。しかし芸術は奥が深い!



二橋 元長

2022/11/18

今回は「Signs～きざしへ～」がテーマだという。思わず「ガッテン」と手を打つ作品もあれば、「う～む」と、首をかしげる作品もある。が、どれもこれも、不思議と公園の風景に溶け込み、以前から「そこにあった」かのように思える。



八島 ゆかり

2022/11/20

西荻 ギャラリーみずのそら 屋外アートのトロールの森がプロフェッショナルによる衣装と写真、さらには子どもたちとのリメイクへとすごく広がっていて素晴らしい。私も小学生なら絶対参加したかった。



itoco\_o

2022/11/22

トロールの森で秋の終わりを見届ける。

